

福島県立田島高等学校

野球部通信

No.2 2019年9月9日発行

○田島高校について

田島高校は1学年80名定員の小さな学校ですが、その分、一人ひとり手厚い指導を受けられることが最大のメリットです。全日制普通科の学校ですが、進学コース、情報会計コース、環境科学コースの3コースに分かれています。進学コースでは少人数制授業の中で、国公立大学も目指せます。情報会計コースは商業高校、環境科学コースは農業高校に行かなくてもそれぞれの分野について専門的に学ぶことができ、就職率も近年100%が続いています。また、広大な敷地を所有しており、思う存分に部活動に打ち込むことができる環境となっています。

○夏の選手権大会の結果

夏の選手権大会では、一回戦で相馬東高校と対戦し4-6で敗れました。しかし、最後まで諦めることなく戦い抜き、全員で最大限野球を楽しむことができました。また、この試合には吹奏楽部や生徒会役員を中心に約40名の応援団が駆けつけて声援をいただきました。3年生達の悔しさを糧に来年の夏こそ良い結果を残せるよう選手一丸頑張るつもりです。

田 島 | 1 0 1 | 0 0 2 | 0 0 0 | 4

相馬東 | 3 0 2 | 0 0 0 | 0 1 × | 6

バッテリー：星真斗（3年・荒海中）⇒湯田将斗（3年・下郷中） — 一柳怜央（1年・下郷中）

二 塁 打：渡部蓮（3年・田島中）・星真斗（3年）

適 時 打：星真斗（3年・1回表）・湯田将斗（3年・3回表）・

星心（3年・下郷中・6回表）



○新チームについて

現在、選手2名とマネージャー3名の合計5名で活動しています。秋の大会からはザベリオ学園高校、大沼高校、坂下高校との連合チームとして試合に出場しています。また、来春からは多くの新入生を迎え田島高校単独で大会に出場するために、個々のレベルアップに取り組んでいるところです。栄養指導やウエイトトレーニングを通して強豪校と戦える体づくりに力を入れ、誰しものが長打を打てるチームづくりを目指しています。



○部員紹介（学年・出身中学・主なポジション） ※写真、下段左より

- ・佐藤 大（1年・荒海中・内野手）
- ・一柳怜央（1年・下郷中・捕手）
- ・齋藤愛華（2年・田島中・マネージャー）
- ・山田萌花（1年・田島中・マネージャー）
- ・大竹杏実（1年・田島中・マネージャー）

○指導者紹介（役職・担当教科・意気込み） ※写真、上段左より

- ・川口竜也（部長・数学・頑張る部員がいる以上、指導者一丸で頑張ります。未来を作りましょう！）
- ・吉田修平（監督・保健体育・南会津郡の力を見せつけましょう！）
- ・松田駿介（コーチ・農業・雨垂れ石を穿つ！）
- ・関本優（コーチ・数学・“本気で楽しく”をモットーに田島高校をともに盛り上げていきましょう！）

○監督より

田島高校は部員が少ないからこそ団結力があり、一人ひとりが練習する機会を多く確保することができます。下級生の段階からレギュラーとして多くの実践を積むことができるのも大きなメリットです。慣れ親しんだ地で、慣れ親しんだ仲間と野球をやりながら、南会津郡から甲子園を目指しましょう。そしてこの南会津の地を大いに盛り上げていきましょう。興味がある方は気軽に見学にお越し下さい。なお、学校のホームページでも野球部の活動を見ることができますので、どうぞご覧下さい。